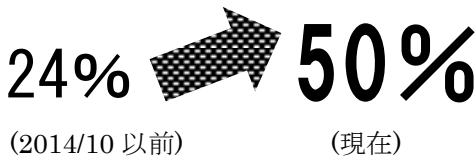


国民の財産(年金積立金)を 株価つり上げの道具に して、5兆円が消える 問われる安倍政権の経済政策

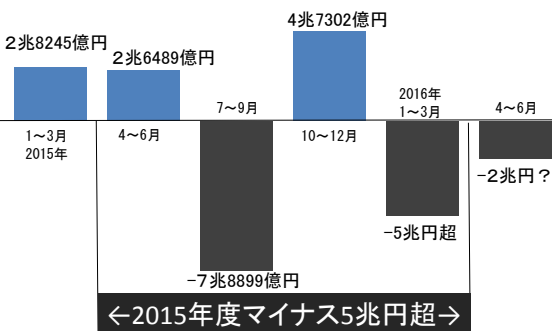
報道されていますように、安倍政権が株価つり上げの道具として年金積立金を使ってきた結果、多額の損失(2015年度、マイナス5兆円超)が明らかになりました。(下グラフ参照)

さらに、今回の英国のEU離脱による株安で、さらなる損失が予想される事態となっていますが、その公表は、例年より3週間以上遅い参院選後です。

年金積立金の資産構成に占める、 国内・外国株式比率



株式運用拡大後の運用状況



バングラディッシュテロで、日本人7人犠牲

アフガン・イラク戦争がテロ組織をつくった 戦争でテロをなくせない

非道なテロに抗議する
7月2日におきたバングラディッシュのテロ。日本人も7人が犠牲になりました。怒りを込め抗議します。
テロ組織は戦争でつくられた

7月6日に発表された英国の「イラク戦争調査報告書」に、次の文があります。「(英国が) 侵攻後にイラクが不安定化し、アルカイダなどのテロ

7月8日の信濃毎日新聞は「斜面」

戦争でテロをなくせない

7月6日に発表された英国の「イラク戦争調査報告書」に、次の文があります。「(英国が) 侵攻後にイラクが不安定化し、アルカイダなどのテロ

7月8日の信濃毎日新聞は「斜面」

戦争でテロをなくせない

イラク戦争検証 各国の対応

米 国	独立調査委員会が2005年3月、イラクの大量破壊兵器(WMD)の問題をめぐる米情報機関の判断は「完全に誤っていた」とする報告書を公表
オランダ	独立調査委が10年1月、「イラク侵攻は国際法上の権限がなかった」とする約550頁の報告書を公表
英 国	独立調査委が09年以降、ブレア元首相ら120人以上を喚問、開戦前から約8年間のイラク関与を検証した約260万語の報告書を7月6日に公表予定
日 本	外務省が開戦までの省内の意思決定過程について、12年12月にWMDが確認できなかった点を「厳粛に受け止める」とする4頁の検証結果を発表

朝日新聞デジタル(2016.7.6)より

がはびこる環境が生まれることを政府機関は明確に警告していたが、過小評価された。(中略) 侵攻とその後の混乱で、15万人あるいはもっと多くのイラク国民が死亡した。イラク国民は大きな苦しみを味わった」。

このことは米英ともに認めていません。

7月8日の信濃毎日新聞は「斜面」

戦争でテロをなくせない

7月6日に発表された英国の「イラク戦争調査報告書」に、次の文があります。「(英国が) 侵攻後にイラクが不安定化し、アルカイダなどのテロ

7月8日の信濃毎日新聞は「斜面」

戦争でテロをなくせない

夏季闘争 公務・民間一緒に力あわせ

戦争法廃止! 暮らしと雇用守れ

戦争法廃止・労働法制改善
阻止、いますぐ最賃1,000円以上へ、公務員賃金改善

7・27 中央行動

○期日：7月27日(水)
○場所：東京：霞が関・日比谷公園周辺
○行動内容：総決起集会・各省庁要請行動・デモ行進
★バスで参加します。配布したチラシを参照し、所属組合に申し込んで下さい。

核兵器廃絶の願いをつなぐ

7月1日に新潟県から行進を引き継ぎ、7月5日に群馬コース、6日に山梨コースにそれぞれ引き継ぎました。(以下に、3つの行動を紹介します)

◆7月1日 新潟・長野県境引き継ぎ集会

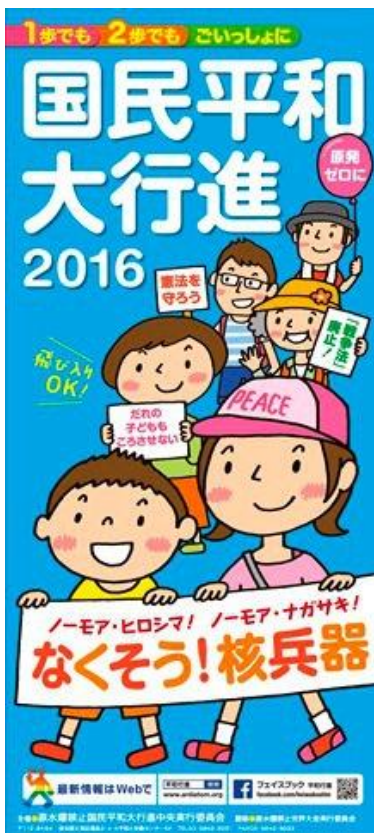
5月8日に北海道をスタートした国民平和行進を、新潟から引き継ぎました。引き継ぎ集会では、各団体の旗や青年リレーのタスキなどが手渡され、信濃町横川町長が「非核宣言をする信濃町も、皆さんと共に平和を求める運動を進めたい」と激励のあいさつを行いました。

◆7月2日 中条→小川・鬼無里・戸隠行進

長野市原水協が主催する網の目の平和行進に、のべ37人が参加しました。出発に先立ち大塚会長はあいさつで、「オバマ米大統領は広島で、自分が生きているうちには核兵器廃絶の実現は難しいと言っている。私たちの運動で非核平和の実現を進める。参院選では、平和憲法を守るとりくみが大変」と、核のない平和な世界の実現を強調しました。小川村では総務課長から激励のあいさつがあり、沿道からも、声援が寄せられました。

◆7月4日 市内北部行進、城山公園・トイゴ広場集会

市内北部を行進し、城山公園とトイゴ広場で集会を行いました。全国通し行進者の山田太枝さんは、「世界で続く争いをなくしたくて70才になるが行進に参加。若者に引き継いでほしい」と決意を述べました。



行進参加者のみなさん、職場から行進参加者を送り出したみなさん、平和を願うすべてのみなさん：核兵器廃絶の願いが、8月の世界大会に向け今年もつながりました。お疲れ様でした。

国民平和行進とは

国民平和行進は、“ノーモア・ヒロシマ！ノーモア・ナガサキ！”“核兵器のない世界を”と核兵器廃絶を訴えて、文字通り全国を歩く行進です。

1958年6月に、被爆地広島から東京へ、1,000キロの道のりを歩く最初の平和行進が行われました。このときの参加者は、毎日2人、3人と増え続け、のべ100万人もなりました。

以来この半世紀以上、雨の日も風の日も毎年休まず行進は続けられ、いまではすべての都道府県と7割を超える自治体を通り、毎年10万人が参加する国民的行動となっています。核兵器廃絶を願う人なら誰でも参加できる行動です。



長野市中央通りを進む行進団(2016.7.4)



中条支所前に集合した行進団(2016.7.2)